

～三重県養護教諭教育研究会が開催されました～

12月13日(土)に、鈴鹿短期大学にて三重県養護教諭教育研究会が開催されました。「生きる力をはぐくむ保健指導・保健学習の実践を考える」というテーマで研究会が行われ、専攻科の学生1年生はスタッフとして参加しました。

午前の部は、名古屋学芸大学講師の池田絹代先生が「養護教諭が行う保健指導・保健学習」についてご講演されました。養護実践の中で培われた経験をお話いただき、後半は模擬授業野中で手作りの温かさを感じる指導教材をたくさん見せていただきました。私たちは授業のアシスタント役として参加させていただき、保健指導・学習に対する熱意を感じ、刺激を受けました。先生は健康教育は生涯の健康につながると、保健指導の意味を図により力説されました。

午後の研究報告会では、「こころの健康」共同研究グループの発表や、鈴鹿高校御村ひさ子先生からネパール山間部における家族・作物に関する調査研究の発表があり、養護教諭の活動の広さを感じました。その後、「養護教諭が関わる運動器疾患と運動系部活動の問題点—あなたならこんな時、どのような保健指導をしますか？—」というテーマで、鈴鹿短期大学石川拓次先生の講義がありました。運動器疾患だけでなく、平成28年度から健康診断に新たに追加される、運動器検診についてもお話をしていただきました。参加者の関心が高く、先生方の保健管理の熱意を感じました。いつか私たちも教育実習の際や、実際に現場に出た際、今回の学びを生かしていきたいと思いました。ワクワク！



11月号に引き続き、専攻科1年生の授業を担当されている先生方から、授業や学生への思いなど、コメントをいただきました。今月号は、佐治順子先生と小川真由子先生にお願いしました！



佐治順子先生
担当授業：教育方法と技術

授業では、時間内での発表法、分かり易いPPT作成法、質問紙作成法、質的研究の方法論、抄録や配布資料の書き方などを、全員に発表してもらいながら指導しました。

毎回の学習課題を準備してそれぞれが活発に、自由に意見交換できる時間でした。



小川真由子先生
担当授業：養護教育実践研究

「養護教諭が専門教員として確立するための養護教育の実践研究」をテーマに、養護教諭が必要とする資質能力について学んでいきます。養護教諭に求められる教育力、指導力、調査研究能力、プレゼンテーション能力、コミュニケーション能力などを多様な面から分析し、今後の実践で生かせる専門性について事例や先行研究などをもとに分析し、討論したりします。

